

会 議 録

会議名 (審議会等名)		第 5 回相模原市公立特定教育・保育施設あり方懇話会				
事務局 (担当課)		健康福祉局こども育成部保育課 電話 0 4 2 - 7 6 9 - 8 3 4 1 (直通)				
開催日時		平成 2 9 年 3 月 1 3 日 (月) 午前 1 0 時 ~ 午前 1 1 時 3 0 分				
開催場所		会議室棟 2 階第 3 会議室				
出席者	委員	3 人 (別紙のとおり)				
	その他	0 人				
	事務局	7 人 (保育課長ほか 6 人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	0 人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		1 開会 2 あいさつ 3 相模原市公立特定教育・保育施設等のあり方に関する基本方針の答申について 4 その他 5 閉会				

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。(〃 は委員の発言、 〃 は事務局の発言)

1 開会

2 あいさつ

こども育成部長あいさつ

3 資料説明・意見聴取

公立保育所等における一時預かり事業の実施は一部にとどまっているが、その理由として一時預かりを行う保育室等の確保ができないことがあると聞いている。施設を建替えるなどして一時預かり事業を拡充していくような計画はあるのか。

今後、公立施設のあり方・役割の実現等に向けた検討をしていく中で、併せて検討していくことになると思われる。

この時期は、一時預かりに関する問い合わせが多く寄せられており、近くの公立園で一時預かりを実施していないことを理由に居住地から離れた園に問い合わせが来るケースもある。一時預かり事業や病児・病後児保育事業など、民間が担うことが難しい分野の拡充を進めることも公立の役割かと思う。

土砂災害警戒区域にある施設は、どのように対応しているのか。

避難準備情報が出た場合には、保護者への引き取りの依頼や、避難を実施したりしている。また、メールにより保護者に情報伝達できる体制を整えている。

定員に対する入所人数をみると、津久井地域には民間では経営が難しい状況になっている園もある。問題が起きてからではなく、時間をかけて10年、20年先の人口動態等をみながら広く議論をしていかなければならないと考える。

施設を集約する場合などは、利用児童への配慮が必要になるので、先を見据えた議論が必要ではないか。

城山幼稚園は園児の数が減ってきている。行事の負担を減らすなど、保護者の負担軽減にも配慮がなされているが、3歳児保育の実施など、入園希望者を増やす方策をとることも必要ではないか。

4 その他

5 閉会

以 上

相模原市公立特定教育・保育施設あり方懇話会委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	出欠席
1	板倉 華代	相模原市立城山幼稚園くすの木会会長	出席
2	内田 紀子	相模原市私立保育園園長会会長	出席
3	川崎 永	一般社団法人 相模原市幼稚園協会会長	欠席
4	園田 巖	東京都市大学人間科学部講師	出席
5	戸塚 英明	社会福祉法人 相模原市社会福祉協議会会長	欠席
6	鳥山 小夜子	相模原市立相模原保育園保護者会会長	欠席
7	山本 優子	相模原市立津久井中央保育園保護者会会長	欠席
8	吉岡 日三雄	相模女子大学教職センター長・特任教授	欠席

(敬称略 50音順)